

所沢市市民医療センター再整備基本計画（案）に対する ご意見と市の考え方について

所沢市市民医療センター再整備基本計画（案）について、皆様からお寄せいただいたご意見の内容とご意見に対する市の考え方を公表します。

ご意見をいただきました皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

令和6年1月19日

所沢市市民医療センター 総務課 再整備推進室

電話：04-2992-1151

F A X：04-2998-5941

メール：b9921151@city.tokorozawa.lg.jp

1. 募集概要

(1) 募集期間

令和5年11月21日（火）～12月20日（水）

(2) 受付方法

直接持参、郵送、F A X、電子メール、電子申請

2. 募集結果

(1) 応募件数

6名

(2) 意見の件数

11件

所沢市市民医療センター再整備基本計画（案）に対するご意見と市の考え方

| No. | ページ・項目 | ご意見 | ご意見に対する市の考え方 |
|-----|--------------------------|---|--|
| 1 | 全体 新病院の名称変更 について | <p>市外から多くの生産年齢人口を呼び込むためには、所沢市独特の子育て政策方針について、積極的に広報活動やメッセージを発していく必要があります。これを端的かつ効果的に実施するためには、市が小児医療に重点を置き全面的に支援していることを明示する形で、先ず病院の名称を変更することです。現病院が開設されて以降、これまで市民ニーズや必要診療科目などは時代とともに変化してきているわけですが、それにもかかわらず、五十年一日の如く旧態依然とした名称が継続されていることには、逆に違和感すら覚えます。</p> <p>新名称案としては、小児医療に特化した病院であるならば、「所沢市小児医療センター」や「所沢市立子ども病院」などが思い浮かびます。ただ本計画案では、高齢者の回復期医療と一般市民向けの感染症対応や健康診断なども機能として併せ持っていますので、「所沢市 市民子育て医療センター」や「所沢市子ども・市民医療センター」などが適切だと思いますが、どうでしょうか。今後の詳細設計過程における最重点課題として検討を望むものであります。</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。 今後の施策の参考とさせていただきます。</p> |
| 2 | 全体 保健センターとの 関係について | <p>【意見と質問①】 本計画案では、母子健康管理など子育て過程では密接な関係がある保健センターとの連携関係については、殆ど言及されていません。さらに、両施設が同一敷地内に並置されていることは所沢市固有の特徴でもあり、対外的には有力なPRポイントになると思うのですが、この点は如何お考えなのでしょうか。</p> <p>【意見と質問②】 8月24日開催の第1回保健医療計画推進委員会において、扇原副委員長は以下の発言をされております。全くそのとおりだと思うのですが、こうした意見は、本計画案の現検討段階ではどのように織り込まれているのでしょうか。</p> <p>「(前段落) エリア全体で健康予防をイメージできる空間になるといいのではと感じています。このエリアに普段から日常的に来たくなるような、例えばウォーキングもできベンチを設置して休める場所もあり、市民医療センターや保健センターのスタッフと日常的に顔が見え、来たくなるような空間というのがあれば市民のシンボルとして民間病院と差別化ができるといいなと思いました。(以下略)」</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>保健センターとは、現在も健康検診業務等での連携を行っており、引き続き効果的な連携の検討を進めてまいります。</p> <p>敷地の空間利用については、令和6年度から実施予定の設計業務の中で参考とさせていただきます。</p> |

| No. | ページ・項目 | ご意見の内容 | ご意見に対する市の考え方 |
|-----|-------------------------|--|--|
| 3 | 1 ページ 公立病院としての役割について | <p>公立病院としての役割認識について、本計画案では、西部医療圏や市の医療供給の不足分野や不採算・特殊部門等への対応をはかるということなど医療行政面での固有ニーズを中心として計画化されたものですが、本計画は、所沢市での唯一の公立病院（歯科を除く）における、半世紀ぶりとなる 50 億円規模もの極めて大きな事業投資案件です。こうした折角の機会ですから視点をより高くおき、如何に今後の所沢の街づくりに貢献しうるものとするか、という観点からも、幅広い見地で具体案の検討を進めていただきたいと願うものです。</p> <p>すなわち、所沢市を巡る子育て世代への対応の問題です。</p> <p>子どもの医療費や給食費の無償化などのソフト的な諸施策については早晚実行に移されるものと思いますが、一方ハード面においても、市が直接に子育て病院の運営に携わり地域小児医療の充実をはかるという、所沢市固有のこの行政手法は、市内の子育て世代にとって安心感を与えるものとなっています。と同時に、市外在住の子育て世代を呼び込む大きなインパクトにもなります。昨年度の所沢市人口の社会動態をみると、30 年振りに 2 千人規模の転入超過となりました。多くが生産年齢人口（≡子育て世代層）と云われています。昨年度の場合は、コロナ禍などが背景にあったわけですが、所沢市としては、こうした人の流れを恒常化させて、街の発展に繋げていく必要があります。</p> <p>ここに新病院は貢献できないものでしょうか。市直轄の小児医療機関というのは子育て世代にはメッセージ力のある話です。やり方によっては、「日本一子どもを大切にす街・所沢」を象徴する施設になるものと思います。そして、仮に現在の将来人口推計[p5]を上回る生産年齢人口の流入と増加が実現できれば、これに見合い税収も当然増大をいたします。本計画案で最大の問題となっている財政負担の過大感についてもその分は軽減されるわけです。反対を受ける本計画案についても、こうした見通しが得られ、名称を含め新たな方針が再構築されれば、それは賛同に変わる余地があるものと思います。</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>限られた医療資源の効率化のために地域の医療機関との連携や機能の分担を図りつつ、1 年 365 日 小児急患診療 を行う公立病院として、引き続き、小児医療に力を入れてまいります。</p> |

| No. | ページ・項目 | ご意見の内容 | ご意見に対する市の考え方 |
|-----|--|--|--|
| 4 | 2 ページ、15 ページ ほか 立地及び再整備にかか るコストについて | <p>今の医療センターは駅から遠く、徒歩圏ではないため、子供たちがまだ赤ん坊や小さいとき、行くのに大変苦労しました。次に建て替えるときは、もっと便利な場所になるだろうと思っておりましたが、案を拝見するに今と同じ場所ということ。ぜひ外来だけでも駅から近いところ、例えば所沢駅の近くに建設中の商業ビル内、新所沢パルコ跡地、小手指西友の跡地などに入ればありがたい。入院などは、今の場所で構わない。2つの場所を職員御移動が必要ならシャトルバスの運用を考えてほしい。</p> <p>また、再エネ、脱炭素の案は今のEVの凋落で明らかなように、使っている分にはエコかもしれないが、製造や廃棄も当然考慮されるべき。</p> <p>いづれにしろ、今だけカネだけではなく、10年後、20年後の所沢をどうしていくのか？少子化も含めお考えいただきたい。</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>市民医療センターの移転新築については、適地を見つけることや費用面に課題があることから、現在地での建替えが望ましいと判断しました。</p> <p>なお、建替えにあたっては、ライフサイクルコストも含めて経済性や環境負荷低減に配慮した設計となるよう努めてまいります。</p> |
| 5 | 3 ページほか 感染症対応について | <p>待合時、混雑が見られる場合は他の風邪がうつらないか親として心配なことがあります。できれば、咳が酷い方などは隔離できる部屋などあればありがたいです。また、それが難しい様であれば、車でお越しの方が多くと思いますので、携帯で順番を見られる様にいただき、順番が近くなったら中に入る、というようなシステムがあればいいな、と思いました。車で、感染力の強い病気は検査してから入るなども一案としてあるのかなと思いました。コロナだけでなく、インフルエンザなど感染力の強いウイルスや菌もある様ですので、やはり気になってしまうのが本音です。</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、平時から感染症対応に備える必要があることから、令和6年度から実施予定の設計業務の中で、待合スペースや診察室への動線も含めて検討を進めます。</p> <p>また、再整備にあたっては、デジタル化の推進などにより、混雑の緩和や患者サービスの向上に努めてまいります。</p> |
| 6 | 9 ページ 小児科の診療機能について | <p>この箇所に限らず、全体的に素晴らしいと思いました。</p> <p>現在の分析と将来予測をしたうえで、どの項目でもまず「子ども」に言及されていて、市の姿勢を感じました。将来的に小児科は減っていくだろうと世間では予想されていますので、市の医療センターは頼れる存在・最後の砦・育児の友であり続けてほしいです。このまま子ども最優先でお願いします。</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>1年365日小児急患診療を行う公立病院として、引き続き、小児医療に力を入れてまいります。</p> |

| No. | ページ・項目 | ご意見の内容 | ご意見に対する市の考え方 |
|-----|---------------------------|---|--|
| 7 | 9 ページ 小児科の診療機能について | 新病院の小児科機能について、現行の初期救急や専門外来に加え、専門外来の拡充や新設も検討されるということです。また病棟でも、1泊入院やケア児レスパイト入院などを検討するということであり、ここは期待をしています。 | 貴重なご意見ありがとうございます。 限られた医療資源の効率化のために地域の医療機関との連携や機能の分担を図りつつ、1年365日小児急患診療を行う公立病院として、引き続き、小児医療に力を入れてまいります。 |
| 8 | 15 ページ 建物配置イメージについて | 小野塚市長の公約では中核市への移行を実施する予定となっています。新病院または、保健センターに保健所機能を付帯するべきであると考えます。旧保健所跡地では半分程度の敷地が別の建物を建設しているように見える。また市民医療センター・保健センターと一体化した方が効率良く業務が行えると考えます。 | 貴重なご意見ありがとうございます。 現在地において市民医療センターと保健所を一体で整備することは、都市計画法や建築基準法上の制約があり難しい面があると考えております。 保健所設置については、中核市移行にかかる課題の一つとして関係部局にて検討を進めているところです。 |
| 9 | 15 ページ 再整備後の敷地内緑化等について | 15 ページの建物配置イメージでは、現在敷地の西側にある緑化された道路が無くなりそうだが、16 ページで書かれているように環境負荷低減への配慮として、敷地内の緑化は必須です。配置イメージでは、現病院解体後⇒駐車場となっているが、これでは全面が駐車場になる印象を与える。基本計画では、この部分を駐車場・緑地とし、敷地内の緑地をしっかりと確保する姿勢を示した方がよい。 また、全体の敷地は陸軍衛成病院・国立所沢病院であった歴史ある場所であり、現在、松井まちづくり協議会による国立所沢病院跡の杭が建っている。新しく作られる敷地内の緑地には、陸軍衛成病院跡であることも含めた沿革を記した碑も立ててほしい。 | 貴重なご意見ありがとうございます。 市民医療センターの再整備にあたっては、駐車場の確保とともに敷地内の緑化を含めて環境に配慮した設計となるよう努めてまいります。 また、現在地の経緯については、今後の施策の参考とさせていただきます。 |
| 10 | 18 ページ 小児急患診療について | 月曜日と木曜日の深夜もできれば医師に在席していただきたいです。 子供がまだ赤ちゃんだった頃、木曜深夜(11時頃)に体調を崩し、埼玉医大まで行きました。体調が悪く一刻も早く診て欲しかったので、とても長く感じました。所沢は夜に小児を診ていただける病院がないので、やっていただけるとありがたいですし、安心感も違います。小さい頃は、第一子で私にも経験がなく、あまり体が強い子ではないということもあり、心配が絶えませんでした。 | 貴重なご意見ありがとうございます。 引き続き、市内医療機関と連携・分担を図りながら、夜間・深夜帯も含め小児初期救急に対応してまいります。 |

| No. | ページ・項目 | ご意見の内容 | ご意見に対する市の考え方 |
|-----|--------------------------|--|---|
| 11 | 30 ページ 一般会計からの繰入金について | <p>本計画案に基づく事業収支シミュレーションによると、一般会計からの繰入金が、現状年 4 億円からさらに 2～3 億円規模で増えるものと見込まれています。率にして 5 割から 7 割以上もの税収の追加負担増となるものです。</p> <p>この見通しを踏まえ、以下の理由から、この追加負担増に見合う新たな方針等の再構築がされない限り、基本的には本計画案の実施に反対をいたします。</p> <p>【その理由】</p> <p>① 所沢市の将来人口推計[p5]では、生産年齢人口数が 20 年後には 2 割近く減少することが見込まれているが、これに本計画の税収の追加増加分を加味すれば、本計画に係る将来の市民一人当りの税負担は、現在よりも累乗的な規模に膨れ上がること。(p1 の(2)再整備の基本的考え方の③に「過大な財政負担の抑制」とありますが、こうした将来的な人口構成の変化をも加味すれば過大となることに疑いの余地はありません。)</p> <p>② 市民アンケートや市民意識調査結果[5/20 松井地区での説明会資料参照]によれば、市がさらに多額の繰入金を負担して継続することを許容する市民は、わずか 12.3% しかいないこと。(市民の過半は小児等不採算分野への市の繰入はあっても現状水準を継続するとしていますし、さらにその他の 3 割もの市民に至っては繰入金のゼロ化か民間への移譲案すら唱えています。しかし本計画案では、こうした歴然とした多数の市民の意見を踏まえ、どう見直しをはかったのか、具体的な説明が一切ありません。次世代に多額のツケを廻す追加増額案ですから、その説明は必須です。)</p> <p>③ 本計画案でも随所に記載[p29,p31]されているとおり、今後契約締結時までの建設単価の動向などを踏まえれば、さらに事業費が膨らみ、本計画で前提とする以上の追々加の繰入金が発生するのは必定となっていること。</p> <p>(5/20 松井地区での説明会で受けた想定事業規模は「30 億円台の前半」というものでしたが、それが既に 47 億円と、1.5 倍近くにまで跳ね上がっています。1.9 倍になった大阪・関西万博の二の舞とならないよう切に願うばかりです。)</p> | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今回の再整備基本計画は、市民アンケートや保健・医療・福祉等の関係者からのご意見も踏まえ、市民や地域におけるニーズの高い分野を市民医療センターとして継続して担うことを決定いたしました。</p> <p>一般会計からの繰入金につきましては、新病院整備の工事費等により増加が見込まれますが、病床利用率の向上など経営改善により、可能な限り縮減を目指してまいります。</p> |